

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 06 05	中期総合計画主要施策番号		2-03		担当課	部・課	農政部農村振興課		
事業名		農業制度資金利子補給等事業				内線		3104			
						E-mail		noson@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	経営規模の拡大、効率化、経営の近代化を推進し、農業の振興及び農業経営の安定と経営体の育成を図る。									
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 高齢化や担い手の減少により農業生産力等が低下し、輸入農産物の増加や消費量の減少などによる価格の低迷などの課題に直面している。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 農業は、自然条件に左右されやすく、それに伴う農産物価格の変動といったリスク性、経営規模が一般に零細であることによる低収益性、信用力の脆弱性、さらに投資の回収期間が長期にわたること等の他産業と異なった性格を有している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 農業経営にとって必要な資金を調達するに当たり、農業者等の金利負担を軽減する必要がある。									
		事業内容	農業者等が借り入れた長期かつ低利の施設資金等に対し、利子補給等を行う。 ・農業近代化資金 ・農業経営基盤強化資金								
		実施期間	不明 ~		根拠法令等	農業近代化資金融通法、食と農業農村振興計画 等					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
認定農業者等に対し、農業経営に必要な資金をより長期かつ低利に融通する。		適切な融資枠を設定し、農業経営の近代化等に必要な低利の資金を融通すること。			平成20年度は、県制度資金融資枠64億4千万円を設定し、農業近代化資金等の低利融資を234件65億2千万円融通した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下				
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円	188,916	170,613	190,860	国庫・県単 県単				
	決 算 額 (B)		千円	186,380	169,519		実施方法 補助、貸付				
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	155,393	138,724	160,019	歳出節別内訳等				
	概 算 人件費	従事する職員数	人	5.00	4.50	4.50	・補助金:139,519 ・貸付金: 30,000 (単位: 千円)				
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	222,080	201,690	223,031					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	融資実績		億円	35	65	64					
	貸付件数		件	188	234	-					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・平成19年度から3年間の農業近代化資金等の無利子化措置により、平成20年度の県制度資金の融資実績は、前年比186%となっているなど引き続き事業ニーズがあると判断される。 ・農業近代化資金融通法等に基づく制度資金である。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	課題の総括		概ね期待通りの成果も得られており、需要の動向を踏まえた適切な事業量に留意しながら、今後も推進していく。								